

## 岡山商科大学孔子学院設立 17 周年記念行事開催

孔子学院の誕生 20 周年を祝うために、また岡山商科大学孔子学院設立 17 周年を記念するために、本孔子学院は展覧会と記念行事を開催した。

「中国の世界文化遺産展」に続いて、中国伝統絵画の独特な美を日本の方々に伝えようとして、岡山商科大学孔子学院は「中国伝世名画展-1」を開催している。また、「孔子学院の日」の翌日、9月28日午後1時から、岡山商科大学孔子学院設立 17 周年記念行事及び「孔子学院の日」記念行事を開催した。孔子学院の佐々木皓平事務局長が司会を担当し、黎曉妮学院長が開会の挨拶を行った。



記念行事は三つの部に分かれている。第一部は中国芸術講座で、孟海霞副学院長が講師を担当し、「洛神賦図」、「歩輦図」、「簪花仕女図」など中国の名画を選び、表現手法、構図、気韻、美意識などの面から分析を行い、中国絵画作品の特徴と美学的特質を解説した。



第二部は公開中国語ミニ講座で、朱風講師が中国語の「進行形」を説明した。文法を説明してから、大連労働公園の早朝風景のビデオを再生して、参加者に「進行形」を使ってビデオの中の人は何をしているかを話してもらった。会話の練習をすると同時に、一般市民の生活がどんなものかも理解することができたのである。



第三部は太極拳体験コーナーで、韓雲冬副学院長が講師を担当し、「起勢・左<sup>きせい</sup>・右野馬分鬃<sup>さ</sup>・白鶴亮翅<sup>ゆうのまぶんそう</sup>・白鶴亮翅<sup>はっかくりょうし</sup>・左右摟膝拗歩<sup>さゆうろうしつようほ</sup>・手揮琵琶<sup>しゅきびわ</sup>」など24式簡化太極拳の動作を詳しく説明した。それから、参加者一同は響きのいい音楽の中で、太極拳を練習し、心身ともにリラックスできた。



記念行事に参加して、みんなから次のようなコメントが寄せられた。今回の

芸術講座を通じて、中国絵画に対して新たな角度からの認識が得られたし、中国語ミニ講座で実用的な日常会話例を習って、興味が一層濃くなったし、太極拳の体験も楽しかったとのことだ。

執筆： 孟海霞

2024年9月30日